

教科	芸術	科目	書の美しさ	開講学期	通年	単位数	2	試験	後期
タイプ	Ⅳ	レポート数	6	スクーリング必要時数		8	スクーリング実施時数		12

教科書(発行者)	
補助教材(発行者)	新編応用ペン習字(教育図書)

科目の目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を創造的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に書の表現や鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	姿勢・執筆法 ぐらしに生かす書(のし袋の書き方)	第1回	後期
	第2回	楷書と行書(地名) 封筒の表と裏を書く 部首	第2・3回	
	第3回	創作 漢字仮名交じりの書(横書) カタカナ・ローマ字の書	第4・5・6回	
後期	第4回	鑑賞(身近な書) 楷書と行書(日常の語句) 筆順・草書	第7・8回	
	第5回	鑑賞 オリジナルはんこ(消しゴムはんこ)	第9・10回	
	第6回	ぐらしに生かす書(年賀状など) はがきを書く	第11・12回	